

各 位

会 社 名 株式会社ブロードバンドタワー  
代 表 者 名 代表取締役 会長兼社長 CEO 藤原 洋  
(コード番号 3776)  
問 合 わ せ 先 取締役 法務・経理統括 中川 美恵子  
(TEL. 03 - 5202- 4800 代)

特別損失の計上、繰延税金資産の取崩し  
並びに通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

特別損失（固定資産の減損損失）の計上、繰延税金資産の取崩しに伴い、平成 28 年 5 月 11 日に公表しました平成 28 年 6 月期（平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）の通期業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失（固定資産の減損損失）の発生及びその内容

データセンターサービス、クラウドサービスについては、価格競争の影響を受け、市場価格は下落傾向にあるため、同サービスを取り巻く環境は厳しい状況が続いております。このような事業環境下、渋谷区にある第3サイト及びクラウドサービスについて、今後の収益を予測した結果、将来において設備投資の回収が困難な見込みであり、また、旧式設備でもあることから、減損処理をすることといたしました。減損損失の計上額は、第3サイトにおいて80百万円、クラウドサービスにおいて204百万円の合計284百万円を計上いたしました。

2. 繰延税金資産の取崩し

新規事業への投資など事業構造転換を進めている中、業績の推移を鑑み、税効果会計における会社分類の変更を行い、今後の繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、当社において繰延税金資産 196 百万円を取り崩し、法人税等調整額に計上いたしました。

3. 差異が生じた理由について

(個別業績)

売上高、経常利益は概ね前回発表予想どおりとなったものの、当期純利益については、上記に記載した固定資産の減損損失の計上、繰延税金資産の取崩しを行ったことから、前回発表予想を下回る結果となりました。

(連結業績)

売上高は前回発表予想を上回ったものの、営業利益、経常利益については、ファッションビジネスプラットフォームにおいて、前回発表予想よりも売上増加に伴う外部業務委託費等の費用が増加しました。親会社株主に帰属する当期純利益は、上記に記載したとおり、固定資産の減損損失の計上、繰延税金資産の取崩しにより、前回発表予想を下回る結果となりました。

## (1)平成 28 年 6 月期通期連結業績予想値と実績値との差異（平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 34,400	百万円 720	百万円 660	百万円 450	円 銭 8.89
実績値 (B)	34,788	657	553	△9	△0.19
増減額 (B-A)	388	△63	△107	△459	△9.08
増減率	1.1%	△8.6%	△16.2%	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 6 月期)	31,697	769	758	58	1.35

## (2)平成 28 年 6 月期第通期個別業績予想値と実績値の差異（平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,200	百万円 130	百万円 300	円 銭 5.93
実績値 (B)	7,196	131	△78	△1.55
増減額 (B-A)	△4	1	△378	△7.48
増減率	△0.1%	0.8%	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 6 月期)	7,491	356	106	2.45

以 上